妻は告白する（1961）

メディア 映画
ジャンル サスペンス　ミステリー
製作国 日本
色彩 B&W
時間 91分
初公開日 1961/10/29

【解説】
　円山雅也『遭難―ある夫婦の場合』を井手雅人が脚色した。増村保造と若尾文子のコンビによる最高傑作との呼び声も高い。
　北穂高山麓で三人の登山者が遭難した。男と女が宙づりとなり、二人を支える男の手からは血が噴き出していた。女がナイフでザイルを切り、宙づりになっていた男は転落死、残る二人は助け出された。女は彩子、死亡したのは彼女の夫で大学助教授の滝川、救出された男は彩子の愛人の幸田だった。彩子は告発され、裁判では夫の死亡が故意か過失かが争われた。その中で徐々に明らかになる彩子の過去。彼女は夫の呪縛から逃れようと、幸田に救いを求めていたのだった。裁判の結果、彩子は無罪となったのだが…。

【クレジット】
監督 増村保造
企画 土井逸雄
原作 円山雅也
脚本 井手雅人
撮影 小林節雄
美術 渡辺竹三郎
編集 中静達治
音楽 北村和夫［音楽］
出演 若尾文子
川口浩
馬淵晴子
根上淳
高松英郎
小沢栄太郎
大山健二
小山内淳
夏木章
此木透
飛田喜佐夫
森矢雄二
谷謙一
村田扶実子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.